

常 新 日 每 警 常

定価 一冊金一圓二角五分(税別)
 送料別
 電話 六二〇〇
 印刷所 日本印刷工業社

童話の指導 (四)

寺田喜次郎

若しお子さん方に中學生になつてまだ此の部類に属するのがありましたら、精神年齢の餘程薄弱な證據です。折がない限り一生を棒にふるせてしまひます。但し子供はいやが應でも此の時期を一度はくぐるのですから、此の時に親が注意しないで居るとあたらしい教育の機会を取逃がすことになりまます。すべて恐れることはよいことではありません、その機会を善用することが母の大切なつとめです。

◇よく家庭では、活動寫真をとめてゐますとか、雑誌や小説は一切讀ませませんとかいふことを手柄のやうに話されるお母さん達に出會ひますが、一寸考へて見る必要があります。子供の心理といふものは抑へられて止むやうな弱いものでもなく、人間の本能にきざしてゐるのですから、抑へられればどこかに逃げ口を求めずには居られません。私共は中學二三年になつてもまだ忍術本を内證で讀んでゐるやうな生徒を見かけますが、實際不憫に感じます。

彼等はいふ書を讀むことを學校が家庭に於て嚴禁されてゐるに違ひないので、そのために中學入學時分には己に愛想をつかしてゐなければならぬ筈の此の種級級の武勇傳がいまだに好まれてゐるので、中學三四年といへばもうそろ／＼人間一生の事を考へ初め、同じ英雄でもロビンソンとかセシルローズとかいふ精神的英雄にあつてゐる時期でありますのに、今

- 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇
- 【朝】味噌汁—なた豆 小
- 付 富貴豆
- 【書】冷しやうめん 割蕎麦
- 油 小皿 蛤 生姜
- 煮
- 【晩】オムライス トマト
- ワニス 煮物—蓮根
- 牛蒡 豚肉

尙猿飛佐助が戀しいやうでは先づ此の生活の前途に見込はないといつてもいいでせう。一體武勇傳によつて教へられることは正義を守る勇敢な精神、卑怯未練な振舞を排斥する精神、艱難を忍んでそれに打克つ精神弱さを助け強さを挫く任侠の精神、かういふ尊い精神が植ゑつけられるのですから、荒木又右衛門決して馬鹿にならないのです。西洋にはかういふ童話で面白いのがたくさんあるやうです。道徳的目的の下に勇力を振ふのでは、ペオウルフ物語、アーサー王物語、ロビンフツド物語、ローラン物語、ニールンゲン物語の如きがあり、明るい無邪氣な勇力としては騎士となつた指小僧の話、巨人の手袋に宿つたトルの話、等々があります。こゝで一寸申上げたいのは日本の今昔物語の話です。この物語は平安朝—ざつと八百年前に源大納言隆國の書きましたもので、三十巻といふ大部のもので、初め五巻が印度の話、次の五巻が支那の話、あとが全日本の話になつて居ります。

店主	が	店員
を	連	れ
か	れ	る
正	シ	イ
正	シ	イ
正	シ	イ
平・田町	ラ	ン
電三五二番		

営業開始

◆ 大衆奉仕を 念願とし 社會中層のよひ館の名の下に 愈々 六月六日より 営業を開始致しました。

……眺望並に 清新の気分にて 於て他に遜 慰むるに 適當な 處と存じます。

……室貸を 主とし …… 經營致します 故 御食 望みに 依り 差上ぐる 設備 も あります。

▼ 茶代は 勿論 申受け ませ せん。

何卒 御引立の程を 願ひ ます。

平郵便局通り (電話七六番)

や よ ひ 館

館主 植野 セツ

夏 の 御 飲 み 物

アイスクリーム アツキアイス
 ミルクケーキ 別味 みつ豆
 ソーダ水 色々 特製氷おた福豆

例年通り 始めました。ほどよく香のよい 宇治名産氷挽茶、御土産に 好適な クリームモナカも 御座います。

魚清食堂

平二番 彦彦通り

魚清食堂

電話六二二

齒科 口腔 外科

レントゲン科

院長 東京齒科 原 精一

平町土橋通り 電話三一三番

原齒科醫院

婦人科 産人科

木村病院

院長 木村寅次郎

醫學博士 内木宗八

藥劑士 大岩俊雄

平町新川町十九 病室完備 入院隨意

電話一六四番

美味 …… 新鮮 ……

ベーカリー

東京堂のパン

是非御試食を!

平橋小島 電話一〇八番



高級パン 食パン色々 洋生菓子 チヤムバター ビスケット カステラ

小店員入用

●御希望の方は當店迄御出下さい

平 驛前

阿部石炭店

電話三十七番

空は晴たり

だが未だ不安デス

と小名濱測候所で打診

然し入梅はあけま

気も心も腐つて 仕舞ふ陰鬱なこ

の天気は何時まで続く?、刈り取つた大小麥も畑に寝

かせたまふ發芽する騒ぎ、用水不足の水田もなくなり

農家では雨はもう澤山だと長梅雨を嘆いてゐる数日、

來の豪雨は郡内各河水にドツと押し出して増水騒ぎ、

三十日一寸快復に向ふらしい空模様となつたので、「し

めター」と許りに例によつて小名濱測候所に伺ひを立

て、見ると七百六十四ミリと云ふ高氣壓がいま小笠原

島の東方から本邦南方洋上を覆ひ低氣壓は三陸沖に七

百五十ミリを示し漸次東に

進んで居るが一方の不連続線の中心が關東南部、東海道、瀬戸内海を通つて九州

の方は延びて居るので附近は雨が降つたり霧が深か

つたりして天氣が定まらな

いが低氣壓が東に去れば天氣は快復すると思ふ、最も

カムチャツカ方面の情報が良く判らないがこの方面

に強い高氣壓でもあればまだ續くかも知れないが大体

梅雨も終期でせう

然し今月の雨量は百九十三

ミリで平年より五十三ミリ多かつたが梅雨といつても本

格的なものでなく普通の足の長かつたのと同じだといふ御宣托だ

から三十日迄を貯金事務無事故期間として局員の注意喚起の爲め各局にポスターを掲示する

平青年團 資金造成

プロ決まる

平青年團は既報の如く來る

四日午後六時から聚樂館で古川綠波氏を招き資金造成

「漫談と映畫の夕」を催すが當日の上映々畫は左の如く決定した

藩地征服、楠公父子、キートンの獸人撃破、無限の寶

式を舉行、實績を擧げることになつた

植田爾市場

好評裡に閉場

四倉爾市場と共に高値を見

せた植田市場は去る二十五日閉場したが本年は勿來市場を合併して郡南春蠶を

手に引受たので總取引高八千八百貫に達し平均四圓六十七錢の相場で四萬一千圓の取引を見た

女教員代表

視察に出發

三區女教員會代表平第一平塚訓導

外四名は一泊二日間の豫定で東京及び千葉方面に於ける教育を視察する事になり

明朝午後五時十五分後篠山平第一校長に引卒され出發する

縣視察が來郡

村田本縣視察は郡下各小學校視察の爲め來る六日頃來郡する由

宗教的情操教育

郡下教務主任會で協議

郡下各小學校の教務主任會

は既報の如く來る四日午前九時から平第一校講堂に開

き今後の行事に就いて種々協議するが各區から提出された協議題は左の如くである

一、兒童教養上宗教的施設經營の具體的方案如何

(第一區)

一、宗教的情操陶冶の具體案如何(第三區)

一、郡内各種教育研究會を部會下に押し活動せしめ

ては如何(第四區)

一、小學生に於ける公民教育の徹底方案如何(同)

一、小學校に於ける宗教的情操の陶冶を如何にすべ

御禮

今般第二回演藝大會開催に當り各位の絶大なる御後援を得まして盛會裡に終りを告げたる段厚く御禮申上候尚多大の御祝儀等頂戴仕り候儀之れ又御厚意の程深謝の至りに御座候御尊名御記入無之方も有之候に付紙上御厚禮申述候

六月三十日

花柳三郎 柳屋十藤 出陣 平藝妓屋組合

舞踊會 決算報告

一金七百五十四圓五十錢也	出演者負擔金
一金壹千五百貳拾五圓也	會員券代
一金八拾五圓也	祝儀金
一金拾貳圓四十錢也	雜收入金
計金貳千三百七十六圓九十錢也	總收入金
內金貳千九百壹圓六錢也	總支出金
差引金五百貳十四圓十六錢也	不足金
右ヲ金五百圓也	平料理店組合負擔
同金四百七十四圓十六錢也	平藝妓屋組合負擔
又差引殘金ナシ	

右之通り

支出金内譯	總支出金
一金貳千九百壹圓二錢	平助成會へ寄附金
內譯金七十圓也	縣刑事協會へ同上
金三十圓也	印刷代金
金八十圓七十五錢	聚樂館支拂
金六十圓三十四錢	處作舞臺新設
金二十七圓六十五錢	電氣裝置料
金四十四圓六十五錢	汽車賃及自動車賃
金百六十一圓六十錢	住吉支店宿泊及茶代
金二十三圓十錢	豆ウチワ代
金三圓四十七錢	筆墨紙代
金九圓二十三錢	通信代
金壹圓二十九錢	訪問手土産
金四圓五十五錢	レコード代
金四圓五十五錢	舞踊小物代
金二十一圓十九錢	人夫料
金二十三圓也	顏師連中拂
金八十圓也	鳴物師連中拂
金貳百二十八圓五十錢	清元連中拂
金三百七十一圓三十錢	醫師連中拂
金貳百三圓十錢	大小道具連中拂
金三百五十九圓也	衣裳師連中拂
金四百三十四圓也	中食夜食代
金八十五圓壹錢也	樂屋諸掛代
金二十二圓二十錢	諸謝禮金
金三百五十三圓也	諸雜代
計 金貳千九百壹圓六錢	

特別戸數割審議

本一日鎮重開始

昭和十一年度特別稅戶數割賦課額八萬七千八百四十圓

の決定は既報の如く委員附託となり本一日から大体三日間の豫定で鎮重審議、來

る六、七日頃本會議を開き確定することになり全町を

東部、西部、中部、北部の

四方面に分け左記の如く方部委員長を擧げて審議を開始した

東部井上茂作氏 西部川崎文治氏 中部野崎滿藏氏 北部佐々木龍若氏

無事故を注意 平郵便局管内三等局では本一日

引受け數少なくて 縣で増加を強調

郡下信組の東北兩社株割當

既報石城信用組合郡部會は

明日九日友樓上に協議會を開き東北振興株の引受け増加に就いて協議するが去る二十九日の協議會で郡下信組

の引受けは千二百二十株と決定、縣へ報告したが縣の割當數は三千五百株に餘り

その半數にも達しない有様なので明日の協議會には縣

から佐藤農林主事補が出席して各組合の引受け増加を強調する模様である

更生計畫樹立

三ヶ村で協議

今年度經濟更生指定村となつた郡下の下小川、川部、磐崎の三ヶ村では更生計畫

の樹立を計るべく本一日午前九時から平町團體事務所

に關係者が參集

うら若き花の命 厭世から昇天 未遂

乙女心に叱責を曲解して
は取止めた。
原因は静江はさきに主人から不注意で叱責されたのを虐待されるものと曲解、女中生活が嫌になつたが何にもならぬ處から世を厭んだものであると村島田醫師手當の結果生命

鎌田隧道中央に 失業者風の轢死男

軌道車初つの飛び込み

神谷村大字鎌田地内常磐線堂山板隧道中央に昨廿日午前八時十分頃男の轢死体あるを平保線區線路工夫三戸佐助さんが発見、平署木戸部長が検視したが同日午前六時四分頃上りガソリンカーに飛び込み、刻ね飛ばされて頭部その他を強打即死したもので身元に就いては六十四銭在中の墓口あるのみで遺留品なく不明で推定年齢三十四、五才、堅綿のセビロ服を着用した一見失業者風、脱ぎ捨てられた短靴に志賀とネームがあり之を唯一の手懸として目下身元調査中

集金人の 公金横領

平局簡易保険集金人同町村

植田町大字長治生れ當時茨城縣磯原郵便局事務員小川長藏(三)は二十五日勤務の終るのを待つて局長や爲替係の机の抽斗から公金八百圓を窃取して自動車で逃走三十日午前二時日立町を徘徊中助川署員に檢舉された

満洲で儲を謀み 公金八百圓横領

植田生の遊蕩兒が失敗

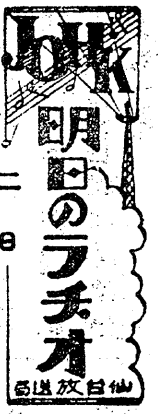
植田町大字長治生れ當時茨城縣磯原郵便局事務員小川長藏(三)は二十五日勤務の終るのを待つて局長や爲替係の机の抽斗から公金八百圓を窃取して自動車で逃走三十日午前二時日立町を徘徊中助川署員に檢舉された

強に犯行を否認し、自白しなかつたが受入票一枚不足の確証あつたため右犯行を自白、尚他にも小口の横領を二、三働へてゐたこと判明首首された

白米植上で 労働者異變

賃銀値上げ叫ぶ

白米一升遂に三十五銭となり労働者は大異變を呈するに至つた田植その他農家の手間は比較的高價、炭礦界は好景氣のため左程でもないが平町内の如き町居住の労働者は全く悲鳴をあげねばならぬ、匡救事業や夏井川改修工事就勢などで午前七時から午後五時までは最高八十五銭、普通で男で最高八十五銭、普通七十五銭女が六十銭程度に過ぎず實に米二升分に満たない有様なので各方面に賃銀値上げの聲が叫ばれるに至り近く何等かの方法により具体化する模様で各就勞事務所並に平署等では目下成行を監査中である



今夜は南の風曇り
明日は北東の風曇り後雨

今晚の部

後六、〇〇 踊唱と齊唱
中リ棍子 みどり會々員
後六、二五 基礎英語講座
鹽谷榮
後七、三〇 講演「全國安全週間に就て」廣瀬社會局長官「安全運動と勞資協調」河原田協調會理事
後八、〇〇 中船大漁祝風

明日の部

後九、三〇 時報 ニューズ 明日の話題 氣象通報番組豫告
前六、三〇 基礎佛語講座

八百圓をマンマと搔拂つて逃走したのである

植田将棋大会

植田町将棋同好會では来る十二日(日曜)午前十時より同

死の床の感激 萬歳を唱ひつゝ 一警官の死

惜しまれる平署室井巡査の永眠

平署特高課勤務室井末明巡査は四五日来痺麻を病み臥床中だつたが本一日午前六時病革を遂に平町材木町の自宅で逝去したが逝去の際同巡査の臨終に立會つた同僚警官から左の如き警察官の絶望となる室井巡査の激烈な警察魂は聴くものを感激させてゐる。即ち室井巡査は死期を悟るや居室の壁間に掲げられた陛下の御眞影に對し奉り立ちあがりんとし立ち得ず病床から「天皇陛下萬歳」を二唱、三唱目に

裁判一束

△既報去る二月十六日午前十一時頃内郷村大字綴七反田地内國道に於てトラックを運轉疾走中折柄通り合した同村野菜行商人花見幸八(三)さんを轢倒し重傷を與へ遂に死亡せしめた平町月見町古川龜太郎方自動車運轉手大川原貞良(三)は過般來平檢事局で精田檢事の取調べを受けてゐたが此程業務上過失傷害罪として起訴され今日平區中島判事から略式罰金八十圓に處された

平職業紹介所報告

△外交販賣員 廿五才位 給料歩合 尋卒
△女中 廿五才迄 月給五圓位外仕着 尋卒
△座敷女中 卅五才迄 月給五圓外仕着 尋卒
△女中 四十才迄 月給四圓 一八圓
△職を求める方
△精米夫 二十四才 尋卒
△コック 廿九才 尋卒
△料理人 廿五才 高一修
△荷上人夫 卅二才 尋四修

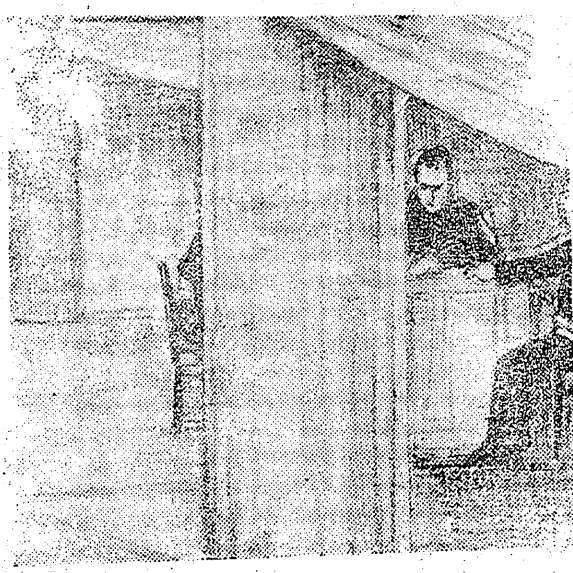
前七、〇一 朝の修養 道歌清談 八波則吉(熊) 前八、〇三 家庭講座 夏の飲料「水」柿沼三郎 後八、〇五 喜劇「落日向」 會我廻家五一郎一座 後八、〇五 國民歌謡「朝」 オリオン・ヨル
後八、二〇 日本職業野球 關野球大會戸塚球場中継 小學生尋四の時間朗讀と劇「木下藤吉郎」東京國史劇コト會
後二、四〇 小學生尋五の時間國史劇「奈良朝時代」 大阪國史劇協會
後六、〇〇 バイブ・ハーモニー
ニカ獨奏綿貫譽
後六、二五 農家の時間 「農村の動力使用に就いて」關口八重吉
後七、二〇 講演「ソ聯邦の準備に就いて」秦新聞 班長
後八、〇〇 ハモンドオルガ、獨奏R.E.パーカー「神戶女學院中継」
後八、二〇 琵琶合奏「花の夢」田中旭嶺他
後八、四五 小唄春日とよ菱他
後九、〇五 漫談風景僕はオリムピック選手エンター、エンタス



瓦解の謎

悟道軒圓玉(作)
丸尾至陽(書)

一六一 いよ／＼開戦
覺王院義親は總督府より使者澤三位卿を宮様のもとにつれ行けば、總督の宮様の使命をつたへてこの澤が宮様を總督府におつれ申すであらう、さうなればこの上野に主人公がなくなる主人公なくなれば彰義隊は鳥合の集まり勢となる、宮様および徳川代々の廟所守護といふ名義でこゝに屯集いたし居る、宮様がお在にならずば士氣がおとろへるさうなつてははか／＼しき戦ひもならぬ、よつてこの使者を輪王寺の宮様に逢はせては大いに不利益と思ひ義『折角の御越しではござるが、輪王寺の宮様には昨夜より御熱氣はげしく、今御加養中故醫師の外御そばに伺候いたす者もござらぬ、何卒御用向の次第は拙僧に仰せ聞けられたく、御氣分およろしき節上申いたすでござらう』



澤『しからばこれ程申すと御對顔いたすことはならぬか』
義『宮様には御不例でござる』
とさつぱり申した
澤『直々言上いたす爲に參

もし宮様が使者にあざむかれてこゝを立ち退かれることになれば總督府の兵士を追ひはらひ宮様を伴れ戻さうと、詰所々々から本坊の門前へ押しよせる。澤三位卿これを見て自分の護衛としてこれまじ来た兵士と彰義隊と衝突しては一大事とそこで急いで上野を下り總督府にもどり、この事を西郷先生につげた。こゝでいよ／＼兵力を以て彰義隊を討つことにしたが、願はくば温和なる手段にて彼等を解散させたきものと西郷先生はしきりにこの事について頭をいためた。
何でこの様に官軍が平和なる手段をとるといふに、こ

目通りに出て使命を申す事はなるまい、不埒な奴は義親と怒つたが仕方がない。そこで本坊の門前へ出て來ると早くもこの事が彰義隊に知れて總督府より宮様を引出しに來たは不届き至極

奥羽十七藩、即ち出羽奥州に居る大名十七頭は仙臺を盟主として白石に會合して官軍を敵として開戦する決意をいたしたとのこと、上野の戦ひが長引けば敵は必ず輪王寺の宮様を擁立して戦ひに立派な名義をつけるであらう。ことに紀州肥後の二藩が上野の彰義隊を擁護するとの密約もあるとの情報に接してゐる。それ故成るべく温和なる手段をもつて解散させやうとしたが、もうかうなつては血をながすよりほかに策はないまことに不本意なことだと西郷先生は大いに慨歎した。すると參謀の大村益次郎君は一日も早く上野を討伐しろといふ

大「上野に居る彰義隊は開戦する決心である、こちらから攻めずば敵よりがならず討つて出る、よつて今のうちに討伐いたすが善い時機と思ふ」
○「貴公の申すことはもつともであるが、今我軍は五千を越えぬ聞くとところによると上野に居る兵は三千それ地形にも通じて居るさすれば夜襲を以て討拂つたがよろしからうと思ふが如何か」
とかういふ説となへたものもある。すると大村君は益「夜襲はいかぬ、何故夜襲はいかぬと申すに、江戸市中に屯集いたし居る諸藩士また幕府の舊臣が今日まで上野に入らぬは官軍を憚るためである。夜襲をかけることになるとこの舉に

時計

高橋時計店
平町二丁目
・小役員募集細面談。

喜多流

喜多流 謡曲と仕舞の稽古をお奨め致します
平町田町六九
入會隨時
電話二二七番

魚問屋

美味 貝焼
味美 鱈鹽から
當店特製 鱈節

白晝堂々と攻めるがよい」といつた。
乗じて諸方より斬つて出るに相違ない。よつてこれは

榮盛賀志
電話一三二番 目丁四平

三井吳服店の夏衣大賣出し

涼味溢る、夏の御召物、京吳服、ジヨゼット、中形全店夏の商品豊富大特賣

本染モスソソ着尺 金貳圓五十錢	ホロカヤ 金參拾錢
バラマウソソ着尺 金貳圓五十錢	呂丸 金參圓五拾錢
呂男 金貳圓五十錢	絹麻 金參圓
手拭浴衣地 金七拾錢	絹ボテラ 金六圓五拾錢
名古屋帯(仕立上) 金壹圓	夏掛フットン仕立上 金壹圓六拾錢

御中元贈答用品大奉仕
御格恰な御値段の商品が豊富に入荷致しました如何様にも承ります

雑貨洋品部新設
御子様方のパンツ、夕オ、ル製品、既製品服地など、新製品豊富に取揃へ大奉仕

かや大賣出し
ほろかや綿、本麻かや、白かやの別選品を大々の大廉賣致します

町 平
店服吳井三
番四八二 八三 話電